

平成26年度 九州大学大学院経済学府修士課程入学試験問題（一般選抜）

ミクロ経済学

次の2問の中から1問を選択し解答しなさい。

問1 消費者A, Bと財1, 2からなる交換経済を考える。消費者の効用関数は

$$U^A(x_1, x_2) = x_1^{\frac{1}{2}}x_2, \quad U^B(x_1, x_2) = x_1x_2^{\frac{1}{2}}$$

(但し, x_1, x_2 はそれぞれ財1, 財2の消費量を示す)

であり, 財の総量は $e_1 = e_2 = 10$ とする。さらに消費者Aが最初に保有している財の量が $(e_1^A, e_2^A) = (3, 7)$ であるものとする。このとき次の問いに答えなさい。

- (1) 財1, 2の価格をそれぞれ $p, 1$ としてA, Bの2種類の財に対する需要関数 $x_1^A, x_2^A, x_1^B, x_2^B$ をすべて求めなさい。
- (2) 競争均衡における財1の価格 p とA, Bの消費量を求めなさい。
- (3) (2)で求めた競争均衡がパレート最適な資源配分であることを示しなさい。

問2 先手優位と後手優位について論じなさい。